

ごき びる さん どう

濃昼山道



目の前に広がる日本海の絶景や、道脇に見られる貴重な草花、清流や木々のトンネルなど、「気持ちいいー!」スポットがいっぱいの「濃昼山道」。これからは紅葉で美しく彩られるこの道を、あなたも散策してみませんか？



11:15 ⑤ 絶景ポイント(3.0km地点)

後ろを振り返ると海が! 天气が良ければ積丹半島も見渡すことができます。



11:30 ⑥ 空沢(3.7km地点)

この沢は、カラカラで水はほとんどありません。



12:00 ⑦ 休憩所(5.0km地点)

この日はここで昼食を食べました。



10:30 ① 滝の沢側山道入り口

今回は安瀬の「滝の沢トンネル」の手前にある入り口からスタート。国道231号沿いに看板があり、海を背に登ります。



10:40 ② 水準点84.1m(0.6km地点)

随所に標高を示す水準点がかつての国道だったことが分かります。



10:45 ③ 滝の沢(0.9km地点)

通称「馬鹿臭い沢」。川を渡るためにぐりりと回り道をしなければなりません。



11:00 ④ 大沢(2.1km地点)

濃昼山道で最も大きな沢。ゴアテックスなどの防水加工の靴であればジャブジャブ進んで行けますが、滑りやすいので要注意。



厚田区安瀬^{やすせ}と濃昼を結ぶ10.6kmの山道で、高低差357m。登山に比べると起伏は少ないものの、急斜面や沢もある健脚者向きのこの道を、8月4日(火)「わんぱくスポーツスクール2009 in 厚田」に参加した小学5・6年生のみんなと一緒に歩いてきました。



カタクリとヒメギフチョウ(撮影は5月)



エゾアジサイ

歩いてみよう!!

よみがえった道



「濃昼山道」の歴史は古く、江戸時代から幕府の北方警備の要路として、また厚田から留萌に抜ける生活道路として利用されていました。しかし、国道231号が開通したことで通行者が途絶え、「忘れられた道」となっていたのを「濃昼山道保存会」の皆さんが6年かけて、ササ刈りなどの保存活動を行い、平成17年秋に復元したものです。

きれいに草刈りされた道や、歩きやすいようにと作られた階段、さらにはほっとする手作りの案内標識などなど、歩き進めるたびに保存会の皆さんへ感謝の意を感じずにはいられません。

▼保存会連絡先
☎090-6216-7103(田中会長)



14:30 ⑪ 濃昼側山道入り口(10.6km地点)

ゴール! 小学生は約4時間かけて、20人全員が見事に走破!



12:45 ⑧ 2の沢(6.1km地点)

丸太が滑りやすいのでゆっくりと。



12:50 ⑨ 1の沢(6.2km地点)

最後の沢。気が抜けません。



13:30 ⑩ 濃昼峠(8.0km地点)

峠から「眺望良し」の看板に沿って少し登ると、絶景が見られます。

